

名 _____
前 _____

一 知識問題

Q1. (10点)

次の () のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 友達と (キョウリョク) して問題を解く。
- (2) 祖母の家を (ハウモン) する。
- (3) 新しい (セイド) が始まる。
- (4) 試合の (ケツカ) を発表する。
- (5) 駅前の (コウエン) で遊ぶ。

Q4. (3点)

次の () に入る漢字を補って、四字熟語を完成させなさい。最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

「一期 () 会」

- ア 一
- イ 二
- ウ 三
- エ 百

Q2. (10点)

次の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 彼は温厚な性格で、誰からも好かれている。
- (2) この本は著名な作家が書いたものだ。
- (3) 地震の被害が報告された。
- (4) 友人の勇敢な行動に感動した。
- (5) 会議の議題について話し合う。

Q5. (4点)

次の文の下線部の敬語の種類として正しいものを、ア～エから一つ選びなさい。

「先生がおっしゃったことをよく聞きなさい。」

- ア 尊敬語
- イ 謙譲語
- ウ 丁寧語
- エ 美化語

Q3. (3点)

次の () に入る最も適切なことわざを、ア～エから一つ選びなさい。

「彼は何度失敗しても諦めない。まさに () だ。」

- ア 七転び八起き
- イ 石の上にも三年
- ウ 猿も木から落ちる
- エ 能ある鷹は爪を隠す

二 論説文

Q6.

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちは毎日、数え切れないほどの「対話」を行っています。朝起きて家族と交わす挨拶、学校での友達との会話、先生への質問——。こうした言葉のやりとりは、あまりにも日常的すぎて、その大切さに気づかないことも多いでしょう。

しかし、①対話とは単なる情報の交換ではありません。それは、相手の心に触れ、自分の心を開く行為なのです。

たとえば、友達が悩みを打ち明けてくれたとき、あなたはどうしますか。すぐに解決策を提案するでしょうか。それとも、まず話を聞くでしょうか。多くの場合、悩んでいる人が本当に求めているのは、「答え」ではなく「理解」です。(A)、ただ黙って話を聞いてもらうだけで、気持ちが楽になることがあります。

このように、対話には「聞く」という側面が非常に重要です。②私たちは話すことばかりに気を取られがちですが、実は聞くことこそが対話の本質なのかもしれません。

ところで、なぜ「聞く」ことがこれほど大切なのでしょうか。それは、③聞くことによって、私たちは相手の立場に立つことができるからです。自分とは異なる考え方や感じ方を知り、「なるほど、そういう見方もあるのか」と気づく。この体験が、私たちの心を豊かにし、世界の見方を広げてくれるのです。

現代社会では、SNSやメールなど、文字だけでやりとりする機会が増えています。これらは便利なツールですが、④相手の表情や声のトーンが見えないため、誤解が生じやすいという問題があります。「あの人は冷たい」と感じていたメッセージが、実際に会って話してみると、ただ忙しかっただけだったということもあるでしょう。

だからこそ、直接顔を合わせて対話することの価値は、むしろ高まっているといえます。画面越しではなく、同じ空間で息づかいを感じながら話すことで、言葉だけでは伝わらないものが伝わります。それは、相手への敬意であり、「あなたの話を聞きたい」という姿勢そのものです。

もちろん、対話が苦手だという人もいますでしょう。何を話していいかわからない、沈黙が怖い、と感じることもあるかもしれません。しかし、対話は上手に話すことではありません。たとえ言葉が少なくても、相手に関心を持ち、耳を傾ける姿勢があれば、それは立派な対話です。

⑤私たちは一人では生きていけません。家族、友人、地域の人々——さまざまな人とつながりながら生きています。そのつながりを支えているのが、対話なのです。

日々の生活の中で、意識して「聞く」時間を作ってみてはどうでしょうか。スマートフォンを置いて、目の前の人の話に集中する。そうした小さな積み重ねが、あなたの人間関係をより豊かなものにしていくはずです。

対話の力を信じ、まずは身近な人との会話を大切にしてみましょう。きっと、新しい発見があるはずです。

Q7. (4点)

本文中の(A)に入る最も適切な接続詞を、ア～エから一つ選びなさい。

- アしかし
- イだから
- ウまたは
- エところが

Q8. (4点)

傍線部①「対話とは単なる情報の交換ではありません」とありますが、筆者が考える「対話」とはどのようなものですか。最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア相手に自分の意見を正確に伝えること
- イ相手の心に触れ、自分の心を開く行為
- ウ問題を解決するための話し合い
- エ日常的に行われる挨拶や会話

Q9. (4点)

傍線部②「私たちは話すことばかりに気を取られがち」とありますが、これはどのような意味ですか。最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア話すことが苦手な人が多いということ
- イ自分が話すことに意識が向きやすいということ
- ウ話す内容を考えるのに時間がかかるということ
- エ話すことと聞くことは同じくらい大切だということ

Q10. (4点)

傍線部③「聞くことによって、私たちは相手の立場に立つことができる」とありますが、その理由として最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 相手の話を聞くことで、自分の考えを整理できるから
- イ 相手の話を聞くことで、自分とは異なる見方を知ることができるから
- ウ 相手の話を聞くことで、相手に好印象を与えることができるから
- エ 相手の話を聞くことで、会話を長く続けることができるから

Q11. (4点)

傍線部④「相手の表情や声のトーンが見えないため、誤解が生じやすい」とありますが、この部分と関連して、筆者が述べていることとして最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア SNSやメールは使わないほうがよい
- イ 直接会って話すことの価値が高まっている
- ウ 文字でのやりとりは誤解を招くので避けるべきだ
- エ 表情や声のトーンを読み取る訓練が必要だ

Q12. (5点)

本文の内容と合っているものを、ア～エから一つ選びなさい。

- ア 対話が苦手な人は、まず話す練習をするべきだ
- イ 悩みを相談されたら、すぐに解決策を提案するのがよい
- ウ 対話は上手に話すことより、相手に関心を持ち耳を傾けることが大切だ
- エ 現代社会では、SNSでのコミュニケーションが最も重要だ

Q13. (5点)

この文章の要旨として最も適切なものを、ア～エから一つ選びなさい。

- ア 対話において「聞く」ことは重要であり、相手の話に耳を傾けることで人間関係が豊かになる
- イ 現代社会ではSNSの普及により、対話の機会が減少している
- ウ 対話が苦手な人でも、練習すれば上手に話せるようになる
- エ 直接会って話すことは、文字でのやりとりより効率が悪い

Q14. (5点)

傍線部⑤「私たちは一人では生きていけません」とありますが、筆者がこのように述べる理由を、本文の内容に基づいて五十字程度で説明しなさい。

三 物語文

Q15.

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

八月の終わり、陽菜は教室の窓から入道雲を見上げていた。夏休みもあと数日。来週から始まる二学期のことを考えると、なんとなく気が重かった。

「陽菜、ちょっといい？」

振り向くと、美咲が立っていた。いつもの明るい表情とは違い、どこか緊張した面持ちだった。

「どうしたの？」

①美咲は少し間を置いてから、小さな声で言った。

「あのね、私、転校することになったの」

その言葉が、陽菜の胸に鋭く刺さった。

「え……転校って、いつ？」

「九月から。お父さんの仕事の都合で、大阪に引っ越すことになって」

美咲とは小学三年生のときからの親友だった。一緒に登下校し、休み時間には必ずおしゃべりをして、放課後には公園で遊んだ。②そんな日々が当たり前のように続くと思っていた。

「急だね……」

それしか言葉が出なかった。もっと何か言いたいの、頭の中が真っ白になってしまった。

美咲は窓の外に目をやった。

「私もびっくりしたよ。先週知らされて、ずっと言えなくて。陽菜に言ったら、本当になっちゃう気がして」

③その言葉を聞いて、陽菜は自分だけが取り残されたような気持ちになった。美咲はずっと一人で抱えていたのだ。自分は何も気づかなかった。

「ごめんね、急に言って」

美咲の声が少し震えていた。

「ううん、謝らないで」

陽菜は首を横に振った。本当は泣きたかった。でも、ここで泣いたら、美咲をもっと辛くさせてしまう気がした。

その夜、陽菜は自分の部屋で美咲との思い出の写真を見ていた。運動会、遠足、学芸会——どの写真にも二人で笑っている姿があった。

「転校しても、友達でいられるよね……」

そうつぶやいてみたものの、不安が消えることはなかった。

翌日、陽菜は美咲に手紙を書くことにした。今の気持ちを伝えたかった。でも、何度書いても、うまく言葉にならない。消しゴムで何度も消して、書き直した。

結局、書けたのは短い文章だった。

「美咲へ ずっと一緒にいられると思ってた。でも、離れても友達でいてね。大阪に遊びに行くから。陽菜より」

④簡単な言葉しか書けなかったけれど、これが今の自分の精いっぱいだった。

始業式の朝、陽菜はその手紙を美咲に渡した。美咲は手紙を受け取ると、目に涙を浮かべた。

「ありがとう。私も陽菜に手紙書いたの」

美咲が差し出した封筒には、「陽菜へ」と丁寧な字で書かれていた。

⑤二人は何も言わずに、しばらく黙ってそこに立っていた。言葉にしなくても、お互いの気持ちは伝わっていた。

やがて、始業式の鐘が鳴った。

「また連絡するね」

美咲が言った。

「うん、待ってる」

陽菜は笑顔で答えた。泣きそうだったけれど、最後は笑って別れたかった。

教室に戻る美咲の背中を見送りながら、陽菜は思った。別れは悲しい。でも、美咲と過ごした時間は、ずっと自分の中に残る。それは誰にも奪えない大切な宝物だ。

ポケットの中の手紙を握りしめながら、陽菜は空を見上げた。入道雲は昨日より少し小さくなっていた。夏が終わろうとしている。でも、新しい季節が始まる。

Q16. (5点)

傍線部①「美咲は少し間を置いてから、小さな声で言った」とありますが、このときの美咲の気持ちとして最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

ア 転校を楽しみにしている

イ 陽菜に伝えることをためらっている

ウ 陽菜のことを嫌いになった

エ 早く大阪に行きたいと思っている

Q17. (5点)

傍線部②「そんな日々が当たり前のように続くと思っていた」とありますが、このとき陽菜はどのような気持ちですか。最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 美咲との日々が終わることへの驚きと戸惑い
- イ 美咲との日々がつまらなかつたという後悔
- ウ 美咲との日々がこれからも続くという安心
- エ 美咲との日々を忘れてしまいそうな不安

Q18. (5点)

傍線部③「自分だけが取り残されたような気持ちになった」とありますが、陽菜がそう感じた理由として最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 美咲が先に新しい友達を作ったから
- イ 美咲が転校の話を隠していたことが許せなかつたから
- ウ 美咲が一人で悩みを抱えていたことに気づけなかつたから
- エ 美咲が大阪に行くことを羨ましく思ったから

Q19. (5点)

陽菜が美咲の転校を聞いた直後、「もっと何か言いたいの、頭の中が真っ白になってしまった」とありますが、これはどのような状況を表していますか。最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 美咲の転校に興味がなく、何も思いつかなかつた
- イ 突然の知らせに驚き、言葉が出なかつた
- ウ 美咲のことをよく知らなかつたので、何を言え方がいいかわからなかつた
- エ 転校の理由を聞き出そうとして考え込んでいた

Q20. (5点)

陽菜が手紙を書いたとき、「何度書いても、うまく言葉にならない」とありますが、その理由として最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 字を書くのが苦手だつたから
- イ 美咲のことをあまり好きではなかつたから
- ウ 複雑な気持ちを言葉で表すことが難しかつたから
- エ 手紙を書いたことがなかつたから

Q21. (5点)

傍線部④「簡単な言葉しか書けなかつたけれど、これが今の自分の精いっぱいだつた」とありますが、この文から読み取れる陽菜の気持ちとして最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 手紙の内容に満足していないが、それでも気持ちを込めた
- イ 簡単な手紙で十分だと思っている
- ウ もっと上手に書けばよかつたと後悔している
- エ 手紙を書くことに飽きてしまつた

Q22. (5点)

傍線部⑤「二人は何も言わずに、しばらく黙ってそこに立っていた」とありますが、この場面の説明として最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア お互いに何を話せばいいかわからず、気まずい沈黙だつた
- イ 言葉にしなくても気持ちが通じ合っていることを表している
- ウ 二人の友情が終つたことを暗示している
- エ 始業式の準備で忙しく、話す時間がなかつた

Q23. (5点)

物語の最後で「入道雲は昨日より少し小さくなつていて。夏が終わろうとしている。でも、新しい季節が始まる」とありますが、この描写の効果として最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

- ア 天気が変わることを予告している
- イ 季節の変化と陽菜の心の変化を重ねて表現している
- ウ 夏休みが終わることへの不満を表している
- エ 美咲との思い出が薄れていくことを示している

Q24. (5点)

陽菜は「泣きそうだったけれど、最後は笑って別れたかった」と思いました。陽菜がそう思った理由を、本文の内容に基づいて四十字程度で説明しなさい。

— おわり —